

交流センターだより



大歳

No.194
令和7年
5月号

大歳地域交流センター
公式X(Twitter)アカウント

発行 大歳地域交流センター TEL 922-4035 FAX 922-4036 人口 13,933 世帯数 7,021
開館時間 8時30分～17時15分 (行政窓口 TEL 922-2461) (令和7年4月1日現在)

大歳子ども会で一緒に活動しましょう♪

大歳子ども会 新規会員募集!

活動期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日 (毎年更新、途中入会も歓迎)

＼幼児・小学生対象／

中学・高校生、大学生の子ども会ジュニアリーダーのお兄さん、お姉さん達と一緒に楽しみましょう! 年長～小学生を新規募集します。

●年長～小学6年生

- ・個人で入会可能です。役員は回ってきません。
- ・ジュニアリーダーと一緒にレクリエーション活動等を楽しめます。



●入会方法

年会費【子どもお一人につき200円(保険料のみ)】を添えて、大歳地域交流センター(以下、事務局)に持参してください。活動場所、内容等は原則LINEで連絡しますので、事務局備え付けの申込用紙に情報の記入をお願いします。

※既に地子連に加入されている単位子ども会は大歳子ども会主催行事全てに参加できます。

※単位子ども会があるところは、単位子ども会の代表者が取りまとめて持参してください。

●お世話人、お問い合わせ 田中 090-5699-5608

分館対抗ソフトボール大会を開催します!

第68回大歳地区分館対抗ソフトボール大会を榎野川運動公園で開催します。地区内の親睦を深めつつ、日頃の練習の成果を十分に発揮し、優勝を目指しましょう!

出場希望は各地区分館長・体育委員さんに5月14日(水)までに直接お申し込みください。なお、申込先がわからない方は、大歳体育振興会事務局(TEL:083-922-4035)にご連絡ください。



日時：6月8日(日) 午前9時00分～

場所：榎野川運動公園

主催：大歳体育振興会

※雨天中止です。



【大歳体育振興会】

事務局(大歳地域交流センター内)

ゆるりラ健美体操

募集

ヨガ・ストレッチ・東洋医学・整体・ツボ押しなどから簡単で身体にいいものをセレクトしたオリジナル体操です。自分のペースで行えます！

【場所】大歳地域交流センター 和室

【練習日】毎週火曜日

- ① 13時00分～14時00分 (60分)
- ② 14時10分～15時10分 (60分)
- ③ 15時30分～17時00分 (90分)
- ④ 18時30分～20時00分 (90分)

★主に健康でありたい50～70代の方が参加されています！

★初回体験は無料です！

【連絡先】岡崎 (090-3638-1152)



大歳剣友会スポーツ少年団

募集

～剣道してみませんか～

【対象】小・中学生 (幼児も可)

【稽古場所】大歳小学校体育館

【稽古日】日曜日 17時00分～19時00分

月曜日 17時30分～19時00分

水曜日 17時30分～19時30分

※道着、防具の貸し出しあり

興味のある方は是非一度見学にお越しください。

【連絡先】川副 (かわぞえ)

(090-8996-7310)



みんなの広場

申込不要

「シニア大歳」では、地域の皆さんが楽しく集う広場を開催しています。どなたでも参加OK！申込みは不要です。お好きなテーマの時にお気軽にご参加ください♪

【内容】

- ・おとなの塗り絵に挑戦
- ・あやとり・けん玉で遊ぼう！
- ・茶話会・ドリンクバー



【日時】5月17日(土)

13時30分～15時30分

【場所】大歳地域交流センター 講堂

【参加費】100円

【持参物】あれば色鉛筆

【連絡先】大窪 (080-2904-8193)

太陽クラブ

要申込

太陽クラブは、未就園児の親子サロンです。年間を通し、様々なイベントを企画しています♪ご参加お待ちしております！



☀️個性診断&おしゃべり会☀️

個性診断士(動物占い)の講師をお呼びします。診断の待ち時間も楽しく過ごしましょう！

【日時】5月23日(金) 10時00分～

【場所】大歳地域交流センター 和室

【参加費】無料

【持ち物】子どもの飲み物

【募集人数】未就園児の親子10組程度

【申込締切】5月16日(金)まで

【連絡先】水原 (090-4897-5649)



母推さんの子育て応援講座

要申込

おしゃべり交流会

風薫る五月です。絵本やおしゃべりでゆっくり友だちづくりを始めませんか。

【日時】5月14日(水)

10時00分～11時00分

(受付9時45分～)

【場所】大歳地域交流センター 和室

【定員】乳幼児とその保護者15組程度

【持参物】子どもの飲み物

【申込受付】5月1日(木)～

【連絡先】大歳地域交流センター

(083-922-4035)

※キャンセルの際は必ずご連絡ください。

バレーボール県決勝大会に出場しました！！

2月16日に開催の第34回山口県小学生バレーボール連盟会長杯争奪新人大会県決勝大会に「大歳JVC」が出場し、3位入賞と好成績を収められました！



募集

団員募集中です！
お気軽にご連絡ください。

【練習日】

火曜日 16時30分～

金曜日 16時30分～

土曜日 8時30分～

【連絡先】山根

(090-2299-8464)

大歳地区社会福祉協議会からのお知らせ

福祉に関するなんでも相談

ふくまる相談室

山口市地域福祉課が市内10カ所に開設している「ふくまる相談室」が定期的に出張してきます！

ご家族での困りごと、ご近所での困りごと、気になること、不安なこと心配ごとを専門の相談員へご相談ください。

相談料
無料

奇数月の
第2木曜日
9時～12時
定期的
に行います

ちょっと
気になるのよ...



開催日
5月8日(木)
9:00～12:00
大歳地域交流センター内
会議室
※予約不要です

ふくまる相談室
(瀧南包括支援センター併設)
☎083-934-3333
平日 8:30～17:00

子どもだてマナビィからのお知らせ

子どもの自立心を育む家族の関わり～「自律」と「自立」を考える～

◎ワークを通じて、親同士が交流を深めながら、いろいろな人の意見を聞いて新たな気付きや自分のことを見直す機会をつくれます。

- 【日時】 6月6日(金) 10時～12時
- 【場所】 大歳地域交流センター 講堂・和室
- 【講師】 小川 昭 氏(公認心理師、臨床心理士、元山口県スクールカウンセラー)
- 【対象】 0歳～中学生の保護者 30人程度
- 【持ち物】 筆記用具
- 【託児】 無料(要申し込み)
- 【申込締切】 5月26日(月)まで
- 【抽選結果】 5月27日(火)～5月30日(金)

※申込多数の場合は抽選となります。当落どちらも場合もご連絡します。

- 【連絡先】 ・山口市教育委員会 社会教育課 (083-934-2866)
- ・市ウェブサイト申込用メールフォーム



家庭教育応援サイト



子どもだてマナビィ

【大歳地区5月の行事予定】

- 1日(木) 燃やせないごみの日
- 9日(金) ぶっくん来館日(15:20～16:00)
- 14日(水) 母推さんの子育て応援講座(10:00～11:00)
- 21日(水) びん・缶ごみの日
- 16日(金) パソコン相談(受付 10:00～10:30)
- 17日(土) みんなの広場(13:30～15:30)
- 18日(日) 地区バレーボール大会(8:30～)

- 15日(木) 金属・小型家電製品ごみの日
- 23日(金) 子育て支援サークル 太陽クラブ(10:00～)
ぶっくん来館日(15:20～16:00)
- 24日(土) 大歳小学校運動会
- 26日(月) 古紙ペットボトル分別収集(大歳①)
- 29日(木) 古紙ペットボトル分別収集(大歳②)
- ※木曜日はプラ容器包装分別収集



江戸時代の「大歳」 その2

江戸時代は身分制社会で親の職業を子どもが引き継ぐのが前提でした。しかし、財産の継承を兄弟間で分割するのは大変ですから、長男が家を継ぎ、2男以降は婿入り先がなければ、一生部屋住みとして家長たる兄にこき使われる運命でした。もっとも豪農であれば、本家・分家・部屋などの門名（集落での呼び名）が示すように独立して家を興すこともありました。

しかし商品経済が発展すると「都市は自由にする」というヨーロッパの諺と同じ現象が起こってきます。職業選択の自由が都市になるほど広がります。世界有数の大都市江戸は世界有数の高い死亡率の都市（伝染病疾患が主）でした。それにもかかわらず、江戸への人口流入は止まらず、近隣の関東諸国が住民流出による人口減少に見舞われるという奇妙な現象が起こってしまいます。都市の住民には年貢のような税金はかからず、病気で死なないかぎり、暮らしやすかったのでしょう。

しかし、耕作を放棄して都市に流れ出る農民が増えることは封建支配の根幹を揺るがしかねません。「駆け落ち」ならロマンチックですが、戸籍台帳である宗門人別台帳から「欠け落ち」されて無宿人になることは犯罪です。幕府は必死に「人返し」政策をとりますが、流れは止まらないばかりか、こうした無宿人に仕事を紹介する新職業として半公然の新職業「ヤクザ」が天保期以降大量に生まれてきます。無宿人は配下に組み込まれることで犯罪者から逃れられるのですから、うまい商売です。

長州藩でも瀬戸内一帯が商業先進地区をなし、大歳でも広く商品作物が栽培されたようです。矢原の畔頭藤村氏は大変甘い瓜を生産し、藩に献上してお褒めの言葉を頂くなど、生産技術が大きく進んだと考えられます。なにしろ農民にとって、米は大半が年貢として取り上げられ、裏作の麦が頼りの生活だったのに、畑作でとれる菜種や綿花などが売れて金になるのですから、こんなありがたい話はなかったはずなのに、藩指定の商人（大半は庄屋・畔頭などの村役人を務める豪農層）にしか売ってはならないという専売制度がつくられ、安く買ったたかれるのですから、黙ってはおれません。天保二年（1831）に起きた天保一揆が「御内用産物方」の設置による商品作物の藩による専売制の強化に反対し、産物方をつとめる大庄屋や庄屋への打ちこわしとなって爆発したこと当然と言えます。同時にそれは、すべての農民が庄屋層に率いられて年貢増長反対で決起する形の一揆から、貧農を中心とする藩や豪農への不満を爆発させる一揆に形が変わったことであり、一揆にさらされた庄屋などの豪農層は農民への向かい方の検討を迫られます。更に藩が集めた商品作物も大阪へもっていけば幕府指定の大商人に買ったたかれるのですから、幕府への不満もつのがついでにいきます。明治維新はこうして準備されていきました。（大歳史談会 文責：武波義明）



「判の瓜」として出荷される瓜類に押された「市次郎」という印判。

山口地方を治める代官・高杉小左衛門から矢原村庄屋・内藤五郎兵衛宛に藤村市五郎の功績をたたえ、名字を唱えることを許可した書面。